



左から菅原営業部長、三谷社長、大友管理部長

i—SMASS少額短期保険

自動車保険マーケットに新規参入

顧客ニーズから生まれた「リペア保険」

リース大手の住友三井オートサービス(SMAS)のグループ会社で6月にリースを発表したi—SMASS少額短期保険(東京都新宿区、三谷一社長)は8月2日、「リペア保険」の販売を開始した。リース車両が対象で、車両損害の修理費用に限定した補償、保険金額の自由設定といった特長を持つ。また、ラインアップの一つであるテレマティクス型は、モビリティデータを活用したサービスを展開するスマートドライブ(東京都千代田区、北川烈社長)と共同開発しており、運転挙動に応じて保険料が決定される。顧客ニーズを反映させることで、従来の自動車保険とは一線を画した商品性が保険業界内外で注目を集めているリペア保険の開発背景や内容などについて、同社の三谷社長、菅原営業部長、大友管理部長に聞いた。

散らせることが可能となる。実際、親会社SMASのリース契約車両で発生する事故のうち約4割は駐車場が発生しており、それによって自動車保険全体の保険料が上昇することに不満を漏らす法人顧客は少なくない。

を補償する必要はないと考えているカーユーザーが多いことから、車両保険の加入率が4割程度にとどまっていると同社は分析する。リペア保険であれば、想定される事故リスクに応じて必要な金額だけをカバーすることができ、また、保険金額を自由に設定できることで、例えば、コストカットによって保険料を削減する必要がある法人の場合でも、車両補償を外すのではなく保険金額

を下げることで対応することができ、三つ目の特長として、テレマティクス型で契約した場合には、ドライバーの安全運転が保険料低減に直結することから、企業に安全運転推進活動を促し、取り組みの効果がよく、車両価額の満額

展開するオリジナル実車研修プログラム「ADS Tトレーニング」のほか、安全運転講習、eラーニング、交通事故削減コンサルティングといった安全運転対策を受講させることができる。従業員の運転スキルが高まれば、リペア保険の保険

料低減につながるとともに、事故によって発生した関連費用の削減も期待できる。テレマティクス型の契約は当面、スマートドライブが取扱代理店として引受けを行う。一方、事故実績に応じて保険料が決定する事故実績型の契約は、100万台のリース車両を保有するSMASをはじめ多くのリース車両の保険を取り扱うSMAサポートが代理店となる。

トを立ち上げた。取り組みの一環として、従来の自動車保険に対するカーユーザーのニーズに応える形で、20年10月に少額短期保険会社の準備会社を設立し、今年5月に関東財務局の登録を受けた後にリペア保険を発売した。

今後は、SMAサポートを通じたSMASの法人顧客への提案や、スマートドライブの取引先へのリペア保険の案内などを通じて実績拡大を図り、5年間で契約件数10万件的達成を目指している。三谷社長は「リペア保険をマーケットに投入することは、お客さまのドライビングテクニク向上の支援や企業の安全運転推進活動の後押しといった総合的な取り組みで事故を減らすことにつながり、お客さまに喜んでいただく一番の近道だ」と思っている。自動車関連の仕事に携わる者として非常に大きな意義を感じている」として、今後のリペア保険の普及に意欲を示している。

車両損害のみを補償、保険金額は自由設定可能に

「リペア保険」(リース車両修理費用保険)は、リース車両が事故によって損傷した際に掛かる修理費用や、全損事故などで修理することができないときに発生する中途解約費用を補償する商品で、引受対象は、自家

用普通乗用車、自家用小型乗用車、自家用軽四輪車、自家用軽四輪貨物車、自家用普通貨物車の6車種。保険金額は、被保険車両の修理に必要と思われる額を基に5万円刻みで設定し(上限500万

円)、保険料の設定方法により事故実績運動型と運転挙動運動型(テレマティクス型)の二つの契約タイプから選択する。リペア保険には従来の自動車保険と異なる特長が主に三つある。一つは、単独の車両保険(車両修理に限定した保険)であること。損保各社が販売している自動車保険商品は基本的に対人賠償責任保険、対物賠償責任保険、人身傷害保険などと車両保険がセットになっており、車両保険とそれ以外の保険を別々に契約したり、車両保険を単独で契約したりすることはない。リペア保険では、対人賠償や対物賠償といった賠償責任補償など分離して契約できることから、事故によるコ

STレーシング」のほかに、安全運転講習、eラーニング、交通事故削減コンサルティングといった安全運転対策を受講させることができる。従業員の運転スキルが高まれば、リペア保険の保険

展開するオリジナル実車研修プログラム「ADS Tトレーニング」のほか、安全運転講習、eラーニング、交通事故削減コンサルティングといった安全運転対策を受講させることができる。従業員の運転スキルが高まれば、リペア保険の保険

は、中期経営計画のストリーミングテクニク向上の支援や企業の安全運転推進活動の後押しといった総合的な取り組みで事故を減らすことにつながり、お客さまに喜んでいただく一番の近道だ」と思っている。自動車関連の仕事に携わる者とし

二つ目の特長は、5万円ごとに保険金額の自由設定が可能なことだ。通常の自動車保険の車両補償では保険金額は自動的に車両価額に基づいて設定される。だが、SMASが保有するリース車両の事故では軽微な損害が多く、車両価額の満額

を下げることに対応することができ、三つ目の特長として、テレマティクス型で契約した場合には、ドライバーの安全運転が保険料低減に直結することから、企業に安全運転推進活動を促し、取り組みの効果がよく、車両価額の満額

展開するオリジナル実車研修プログラム「ADS Tトレーニング」のほかに、安全運転講習、eラーニング、交通事故削減コンサルティングといった安全運転対策を受講させることができる。従業員の運転スキルが高まれば、リペア保険の保険

は、中期経営計画のストリーミングテクニク向上の支援や企業の安全運転推進活動の後押しといった総合的な取り組みで事故を減らすことにつながり、お客さまに喜んでいただく一番の近道だ」と思っている。自動車関連の仕事に携わる者とし

は、中期経営計画のストリーミングテクニク向上の支援や企業の安全運転推進活動の後押しといった総合的な取り組みで事故を減らすことにつながり、お客さまに喜んでいただく一番の近道だ」と思っている。自動車関連の仕事に携わる者とし

は、中期経営計画のストリーミングテクニク向上の支援や企業の安全運転推進活動の後押しといった総合的な取り組みで事故を減らすことにつながり、お客さまに喜んでいただく一番の近道だ」と思っている。自動車関連の仕事に携わる者とし

は、中期経営計画のストリーミングテクニク向上の支援や企業の安全運転推進活動の後押しといった総合的な取り組みで事故を減らすことにつながり、お客さまに喜んでいただく一番の近道だ」と思っている。自動車関連の仕事に携わる者とし

は、中期経営計画のストリーミングテクニク向上の支援や企業の安全運転推進活動の後押しといった総合的な取り組みで事故を減らすことにつながり、お客さまに喜んでいただく一番の近道だ」と思っている。自動車関連の仕事に携わる者とし